

令和2年10月6日開催 市民講演会アンケート 質問の回答

Q 1 未就学児の我が子が死生観を意識し始めました。元々感受性が強く、テレビで動物が亡くなる様子を見て大泣きしたりしていました。最近、ママが死んだらどうしようと思っているようで、泣くことがあります。そのため、「ずっと一緒だから大丈夫だよ」と笑顔で伝えています。感度の高い我が子のこの先も心配です。どのように対応したら良いでしょうか。

A 1 感受性が高いお子さんの離別に対する不安や恐怖は、それ以上の安心できる体験、自分の心の状態を逃がしたり癒したりする体験の丁寧な積み重ねが大切です。

Q 2 ADHD（注1）で服薬している小学生の母です。中学校受験を検討しているのですが、受験することは可能でしょうか。また、学校を選ぶ際、ADHDの子にとって通いやすいかどうかは、何を基準に判断すればよいでしょうか。

A 2 ASD（注2）やADHDの診断があっても、もちろん受験も就職もできます。ポイントは受験ではなく、入ったあとのことです。学校が合理的配慮を行なっているか、実際に在学されている方がどのような配慮を受けているのかを確認なさると良いと思います。

Q 3 中学生の我が子は年長の頃から行き渋りがあり、意欲や自己肯定感が低いようです。通院はしていますが、生きづらさを抱えています。本人に合った環境に出会うために、どこに相談すればよいでしょうか。

A 3 不登校のご相談にいかれる場合、在学中でしたら、学校を通じて、なるべく情報を集めると良いです。また直接、市の教育委員会の窓口にお出かけになり、情報を集めてみてください。フリースクールも沢山あるかと思います。学校と家庭だけではなく、地域の居場所さがしも重要です。私は葉山里山の学校で活動していますが、他にも、八王子近郊でよろしければ、井本陽久先生がなさっている【いもいも】など、自然のなかで学ぶ素敵な仲間がいらっしゃる活動もあります。

Q 4 自分自身が愛情不足で育ちました。自身の子どもへの教育について気を付ける点は何かありますか？

A 4 愛情豊かに、何かができる、できない、ではなく、子どもの命、存在ありのままを、肯定的に受け取って子育てなさってみてください。1日1回、こどもと楽しくわらうこと。たくさん感動と共感をすること。行動ではなく存在を肯定すること。たくさん魔法の言葉をつかってみてください。ママが疲れたときは、肯定的な言葉をたくさんかけてもらうようにするとよいです。

Q 5 ASD・ADHD の子がいます。言葉の吸収が早く、おしゃべりなのですが、ASD の子は言葉を知っていても表面的な事しかわからないと聞きました。言葉が増えたら理解力も増えるのかと思ったのですが、表面的な事しかわからないとはどういうことですか。

A 5 「表面的なことしかわからない」という意味は、たぶん、発達過程で、言葉を音声として楽しむときがあるので、そんなことを示唆されての発言かもしれません。幼児期には、言葉の音声と意味の理解に時間がかかることはあります。コミュニケーションは言葉だけではなく、しぐさ、ジェスチャー、表情、絵カード、漫画、動画など様々なツールですることができます。気持ち、感動をたくさん共有するように子育てしていくと、心豊かな内面の世界がお互いに理解できるようになります。

Q 6 子どもにプールを習わせようと思っていますが、親子で一緒にチャレンジした方が良いのか、それとも子どもだけでチャレンジしたほうが良いのでしょうか。

A 6 プールは親子でもお子さんだけでも、どちらでも。水遊びは療育の基本ですから、たくさんしてください。問題は泳法ではなく、スキンシップで充分です。

Q 7 発達に偏りがある2人の子を育てています。夫に協力を求めたいのですが、どのように伝えると良いのでしょうか。

A 7 旦那様へのお話は、同じ環境にあるパパからのお話を聞くのも方法。ファザーリングジャパンという団体がありますので、パパはパパとの活動をお勧めするのも良いかと思います。頑張っているパパたちから、良い刺激を受けられると思います。

Q 8 就寝時、布団に入ってから何度も手を洗いに行きたがります。何か不安なことがあるのか、どう声をかけるべきか、心配になってしまいます。どう対応すればいいのでしょうか。

A 8 感受性が強いお子さんは、コロナのこと、生活制限など敏感に感じて、不安になっています。不安解消のために、なるべく肯定的な考え方や言葉を使ってみてください。合言葉は「だいじょうぶ」「なんとかなるよ」などです。同じことでも、否定的に心配事として考えたり、話をすると、敏感なお子さんは心配と不安でいっぱいになりますので、なるべく、ピンチはチャンスにとらえて肯定的に考えることが大切です。1回洗ったら、「ばい菌 バイバイ おしまい。」などと歌にしてみるのもよいでしょう。漫画やイラストにして、1回洗うと、さよならして、いなくなる絵などを貼っておくのもよいかもしれません。

(注1) ADHD・・・注意欠如・多動症

(注2) ASD・・・自閉症スペクトラム障害